

カラー	■甚妙泰佛国土を歩く			
巻頭言	●よりよい結実のよろこびを迎う		黒田 武志	22
特集	●ロイ・カトーンの祭り		佐藤 俊明	26
	●タイ国ワットパクナム訪問記		形山 俊彦	48
	●タイ仏教の厚い信仰に悠久の時の流れを感じて		駒沢 晃	71
カラー	●タイふれ合いの旅			77
連載	●くらしの中で読む「正法眼蔵」		小倉 玄照	81
留学記	●水の都スリナガル		阿部 慈園	89
	●はじめてのインド国内旅行		島 岩	93
	●シク教の祈り		保坂 俊司	102
	●学生寮での生活あれこれ		清水 晶子	106
	●オックスフォードだより		引田 弘道	109
	善光寺だより			121
	読者からのお便り			128

題字・グラビア・さし絵  
写真  
カット

伊藤三喜庵  
駒沢 晃  
古刷仏集より

## ちよらよい結実のよろこびを迎う

「宗祖を通して釈尊に還る」ことを念願とし、両大本山での修行に続いてインド仏蹟を巡拝し、タイ国ワット・パクナムに錫を留めて安居生活に入ったのは昭和四十年、ちょうど四半世紀前のことでした。

ワット・パクナムは、私が世界に眼を開く仏教徒として成長する原点であり、心のふるさとでもあります。そしてまた、海外留学僧受け入れの原点でもあります。六年前、留学僧一名がここに留学することによって善光寺海外留学僧派遣育英会は活動の第一歩を踏み出したのであります。

それだけに私はこれまで幾度か参詣して報恩の微衷を捧げてまいりましたが、昨年の参詣はまた意義深いものでした。

昨年十一月、中村元先生の主宰する東方学院で、「タイ宗教文化の旅」を企画されましたので、そのツアーに参加しました。当然のことながらバンコック市内有名寺院の観光が日程にありましたが、表面的な観光よ

りはと考え、ワット・パクナムを訪れ、食事の供養をおこない、そこで昼食をいただいてはと提案し、賛同を得て実施して双方によろこばれ、感謝されました。これは、南方仏教に対する理解と友好親善にいささかなりと寄与し得たのではないか、また留学僧派遣の意義についてその一端を知っていたのではないかと思っております。

ワット・パクナムには日系のプラ・パーワナコーソントーラ副住職あり、また、タイ国日本仏教奉賛会会長に昵懇の小谷亀太郎氏あり、日タイ親善をはかる好機にありますので、この際微力を捧げたいと思っております。目下タイ国日本人会、日タイ友好協会がアユタヤの地に、山田長政はじめ当時の居留日本人の足跡を顕彰すべく記念館の建設を進めております。山田長政の建墓についてはたらきかけたい所存であります。

「念ずれば花開く」といわれます。二十五年前の念願がいまようやく開花の時期を迎えました。さらに美しい花を結ばせ、よりよい結実のよろこびを迎うべく、一層精進いたしますので、何卒よろしく、御協力のほどお願い致します。